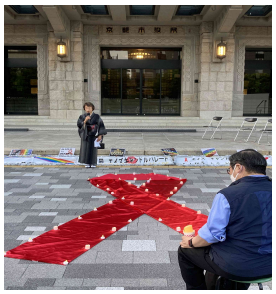
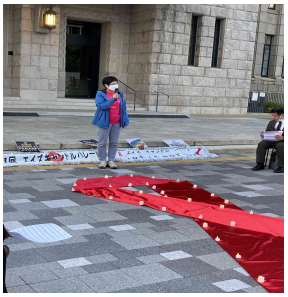
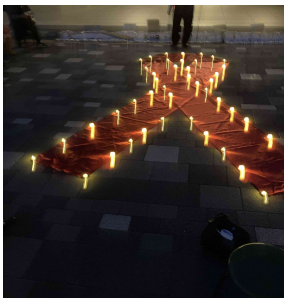
令和5年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体		PLANET(HIV・エイズとともに生きる会)
実施事業名		第３１回　エイズキャンドルパレード（メモリアル）
団体代表者		小田切　孝子
事業の目的		これまで継続してきたエイズキャンドルパレードの形式をかえ、参加者が自由に話せるように一カ所にとどまり、メモリアルとして開催した。これにより参加者どうしの交流をはかり、HIV.・エイズについて考える時間を設けてもらうことを目的とした。
事業の達成度		新しい参加者との交流という意味では、京都レインボープライドの関係者に来て頂き、達成している。参加者数については、昨年の20人を下回り達成はしていない。SNSで発信し、一定の反応はあったが参加者数は増えなかった。
事業実績	対象となった人数（実数）	13人
	具体的な活動内容	令和5年5月20日（土）午後6時半から8時ごろまで、京都市役所前広場にて第31回エイズキャンドルパレード（メモリアル）を開催した。今回は、はじめて京都レインボープライド代表や副代表のかたに参加頂いた。3人のスピーカーが話、後に参加者から意見を伺い、最後に京都レインボープライド代表かつシンガーのかたからアメイジンググレイスを歌っていただき終了となった。参加者からは、薬害エイズやエイズパニックについてはなされるかたや、啓発の難しさをはなされるかたがいた。反省点としては、SNSで少し反響があったため参加者は増加すると思っていたが逆に参加者は減っていた。これについては、来年インスタグラムなどを使用しライブ試聴ができるようにしたりHIV・エイズ関係団体に直接挨拶に伺い参加を促すようなことをしていく必要がある。PLANETのミッションは何か再考し、団体としてできることを検討していく。

参考写真







「薬害エイズ」とは

1983年、CDC（米国疾病対策センター）が血液製剤にHIV混入の疑いがあると警告、FDA（米食品薬品局）も非加熱の血液製剤は使用しないように勧告した。この発表を受け、フランスは血液製剤の輸入を禁止した。

日本は「血液製剤からHIV感染はしない」との立場を取り、83年以降も非加熱製剤を使用し続けた。1985年7月に、厚生省は加熱製剤を認可した。

この2年以上の間に非加熱製剤の使用により、血友病患者の3分の1にあたる約1500人がHIV感染者となった。そのうち3分の1以上の感染者がエイズで亡くなった。（2002年統計）

エイズ・パニック

1985年3月、厚生省は米国在住の男性同性愛者を、日本人の「第一号エイズ患者」として発表。しかし既に、帝京大学病院受診の血友病でありかつエイズ患者の存在を把握していた。86年に入ると、日本で初めて異性間性行為によるエイズ発症が確認された。

メディアにより、HIV感染者の氏名や職業が報道され、感染者の出身都市にある旅館の宿泊客のキャンセルが相次ぐ等、いわゆる「エイズ・パニック」が起こった。

エイズが、同性愛者やセックスワーカーと結びつけられ、社会全体で感染者を排除する風潮に対し、同性愛者は「エイズに名を借りたゲイ差別に反対」として抗議活動を実施した。

エイズ予防法

1989年2月、多くの反対がある中で「エイズ予防法」が施行された。この法律は、非感染者を守るために、感染者の行動を規制し監視する内容だった。さらに、薬害被害者は、厚生省が毎年発表するHIV感染者の統計の対象から除外され、逆にその実態が見えなくなった。

薬害被害者、同性愛者、その支援者らは、エイズ予防法廃止に向け、活動を開始した。

厚生省は「薬害とは、副作用のことであり、血液製剤に混入したウイルスによるHIV感染は薬害とはいえない」とし、薬害責任を認めなかった。

1989年5月、大阪HIV薬害訴訟提訴。同年10月、東京HIV薬害訴訟提訴。

1994年8月、国際エイズ学会が横浜で開かれ、研究者や医師ら専門家が集ったが、薬害被害者は招かれなかった。そのような中で、同時期に横浜で「エイズ文化フォーラム」等を市民が開催し、薬害被害者を含め様々な立場の人々が交流した。

歴史的和解

1996年3月、存在しないとされていた非加熱製剤に関する資料が見つかり、菅直人厚生大臣が謝罪、歴史的和解が成立した。原告が求めていた感染経路によらないHIV感染者への障害者手帳の交付、医療費の助成等が認められた。

1999年4月、新たな感染症に関する法律の施行によりエイズ予防法は廃止された。

PLANETとは

大阪HIV薬害訴訟第二次原告団代表として実名を公表した石田吉明さんが京都で立ち上げ、HIV・エイズの啓発活動を始めました。「感染経路なんか問題ではない。エイズ患者を好奇の目で見ないで、患者として、つまり人間として扱ってほしい」1995年、ご逝去（享年49才）

エイズキャンドルパレード

1983年、サンフランシスコで公的支援が全くないまま、「奇病」で亡くなっていくゲイの若者達を追悼し、同時に生きるために闘う事を誓い、人々はキャンドルを持ち歩きました。この行進は世界中に広まり、PLANETは1993年、エイズキャンドルパレードとして京都で開催しました。

特色は、趣旨に賛同下さった四条・河原町通りのお店に、パレード当日、レッドリボンを掲示頂く事です。

病者が病者でいられる社会を

石田さんが最も望んだ事です。病気だけで人は苦しむのではなく、その病気への偏見や誤解から生じる差別によりさらにつらい思いをします。

病気だと親しい人に言えない状況は、その病気を社会に埋もれさせます。「病者でいられる社会」とは、多様性を認める社会だと思います。PLANETは、多様な「性」と「生」を互いに受容できることを願って、　HIV・AIDSの啓発活動を続けています。

クイズの解答

1.×… HIV の感染源は、精液・膣分泌液・血液・母乳。
主な感染経路は、性行為、注射器の共有や輸血、母子感染の3経路。

2.×…解答 1 の解説参照。

3.×…日本を含め先進国では、抗 HIV 薬を服用する事で、HIV 感染症はコントロール可能な「慢性疾患」とみなされるようになった。
また、ウイルス量 を「検出限界値」以下にする事が可能となり、この状態を 6 カ月以上維持すると、性感染リスクはゼロとなった。
「U(Undetectable)=U(Untransmittable)」

4.○… 所定の保健所にて、HIV、梅毒、淋菌、クラミジアを匿名・無料で検査できる。

5.×… HIV の感染力は、B 型肝炎や C 型肝炎より弱い。HIV 感染者への医療行為や介護は、標準予防策で対応できる。

6.○… 梅毒の感染力は強く、キスで 感染する事もある。
2013 年から患者数が急増している。

7.○… あらゆる性感染症予防に、正しいコンドームの使用が有効。
HIV 感染予防のために、PrEP（暴露前予防内服）という抗 HIV 薬の服用法が提案されているが、コンドームの使用は必要。

8.×… あらゆる性感染症は、早期発見・早期治療が大事。

PLANET(HIV・エイズとともに生きる会)
o-takasan@zpost.plala.or.jp
https://planet-kyoto-hiv.jimdofree.com/
Twitter
https://twitter.com/PlanetKyoto

HIV・AIDS関連クイズ

1. 咳・くしゃみ・汗・涙や蚊に刺される事により、感染する。

2. 同じ職場や学校にいる事で、感染する。

3. エイズは、死に至る病である。

4.HIV の検査は、保健所で匿名・無料で受ける事ができる。

5.HIV の感染力は、B 型肝炎や C 型肝炎の感染力より強い。

6.HIV の感染力は、梅毒の感染力より弱い。

7.HIV 感染を予防する手段は、コンドームの使用である。

8. エイズは治らない病気のため、検査を受ける意味がない。

コンドームを配る意味

1980 年代から 90 年代、
HIV・AIDS 感染が広がり、状況が改善されない中で
必死の思いでコンドームを配り、
啓発活動をした人たちが世界中にいます。
彼らへの敬意と共に、感染予防のために配布しています。

PLANET

People Living with HIV・AIDS Network

HIV・エイズとともに生きる会

PLANET
PEOPLE LIVING WITH HIV NETWORK
HIVとともに生きる会